

農業とものづくりの 先端技術を学ぶ

11月13日から14日の2日間、愛知県名古屋市近郊に議員視察研修に行ってきました。平成30年に町に「くみに農業ビジネス訓練所」ができることもあり、先端農業技術について実証施設の視察も含めて学んだほか、名古屋市近郊での先進的なものづくり技術について視察をしました。

①(株)デンソー農業機器実証施設

統合環境制御(プロファーム)を取り入れたトマトの水耕栽培を視察しました。ハウス内の温度、湿度、CO₂、光が最適な環境条件に保たれ、ハウス内の状況はコントローラーパネルで瞬時に確認が出来ます。日本特有の小規模な農地面積に適したシステムの実用化が求められ、開発・販売をしています。

②(株)デンソー本社展示施設

そもそもは自動車部品のメーカーですが、それ以外で世の中に貢献できることではないかと検討し、開発を進めています。その1つが農業支援事業です。鮮度維持冷蔵機器は、青果物が凍る直前まで品温を落とすことで、従来の倍の期間鮮度を維持できます。



(株)デンソー本社で技術の詳しい説明を受けました

③とよたエコフルタウン

豊田市が運営する施設で、「市民」「地域」「企業」が力を合わせ、無理なく、無駄なく、未来環境都市をつくるための取り組みを視察しました。低炭素社会の実現を目指した様々な分野の先端技術を体験でき、ハチヤクモなど生物の生態から学んだ技術が環境に優しい製品を生み出しています。

④トヨタ会館と工場見学

一番感心したのは、3万個とも言われる部品の供給に工夫があることです。工場では独自の「かんばん方式」を採用し、人気車種では1台の車に1人がかける作業時間はわずか60秒です。また、社員の声を大切にして職場環境の改善に生かしており、作業では「ジャストインタイム」*「自動生産活動」の徹底により成長を続けています。さまざまな企業がトヨタのノウハウを見習い、実践しているのもうなずけます。

※1 かんばん方式とは
トヨタ自動車が開発・実施している生産管理方式で、在庫をできるだけ持たない仕組み。「かんばん」とは、部品納入の時間、数量が書かれた作業指示書のこと。

※2 ジャストインタイムとは
「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」生産または調達する方法のこと。

(株)デンソーの農業技術はとて不思議な感じがしますが、価格が高く、個人で容易に導入できるものはありません。設備に多額の費用がかかることが最大の難点であるため、国や県の補助金でこの点を克服できれば、農業収益を大幅に向上させ、農業に明るい展望が開けると思います。また、それぞれの施設では地球環境に配慮した開発がなされており、企業だけでなく私たち一人一人が、しっかりと将来を見据えて考える必要があると感じました。

(報告者 東海林一樹)

声

12月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさん さんの意見をいただきました。(抜粋)

- 質問も答弁も、一人一人の言葉で丁寧に話されており立派である。(90代・男性)
- 答弁について、逃げとまでは言わないが、意欲的な取り組みが足りない。(80代・男性)
- 傍聴者が同じ顔ぶれで、人数が少ない。(70代・男性)
- 4人しか一般質問者がいないのは、町のこれからについて考える意欲がないのだろうか。(80代・男性)
- 議員一人一人が、日々自分磨きが必要だと町の皆さんが言っている。私も同感だ。(不明・女性)
- 各種団体の助成金について、何年かに一度見直しがあってもいいのでは。(70代・男性)
- 社会教育、公民館事業の機会の公正・明確化を図ってほしい。(80代・男性)

- 消防団のなり手不足は解決できないとのことだが、元消防団員や元消防署員に体力の続く限りお手伝い願ってはどうか。(70代・男性)

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村などで行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織

入院患者減などで 厳しい医療環境

藤田病院組合議会

10月12日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年

議会の動き

12月5日	12月議会定例会(～8日)
12月5日	総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
12月6日	広報常任委員会
12月8日	議会運営委員会、産業建設常任委員会
12月13日	総務文教常任委員会、町表彰祝賀会
12月14日	第22回義経まつり第4回実行委員会
12月16日	町青少年健全育成推進町民大会
12月19日	伊達郡町村議会各町議会議長会議(福島市)
12月21日	「国見あつかしさん」完成お披露目会
12月23日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月26日	町ラッピングバスお披露目式、 公立藤田病院組合議会臨時会
1月4日	町職員表彰式、町新春賀詞交歓会
1月5日	交通三団体交通安全祈願祭(桑折町)、広報常任委員会
1月7日	町消防団出初式、町成人式
1月10日	知事懇談会(福島市)、国見地区建築業組合定期総会
1月12日	広報常任委員会
1月17日	広報常任委員会
1月18日	県北浄化センター環境保全協議会
1月19日	議員懇談会

度の決算認定、職員の育児休業等に関する条例の一部改正の2件が審議され、可決されました。

平成28年度決算認定では、入院患者の減少で経営状況が厳しくなる中、職員が一丸となり経営改善に努めました。2549万円の赤字計上となりました。

◆ 収益的収支決算認定
収入 58億5243万円
支出 58億7792万円
資本的収支決算額
収入 1億6882万円

支出 4億6187万円
(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました。)

◆ 財政調整基金積立金などを増額補正
10月24日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年度の決算認定、財政調整基金の積立金などの平成29年度補正予算の2件が審議さ

伊達地方消防組合議会

(報告者 村上 一)

桑折町の紺野氏の 監査委員選任に同意

伊達地方衛生処理組合
議会

れ、可決されました。

平成28年度決算認定
収入 16億8003万円
支出 16億4968万円
(報告者 渡辺勝弘)

平成28年度決算認定

歳入 46億1032万円
歳出 45億9984万円
(決算額は一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の合計)
(報告者 八島博正)

10月24日、第2回議定会
例会が開催され、平成28年度決算認定、平成29年度補正予算、監査委員の選任への同意など7件が審議され、すべて可決されました。

監査委員には、紺野範明氏(桑折町)の選任に同意しました。